

【総務大臣賞】

富山県

主観的・多面的・持続的な「ウェルビーイング (well-being)」を捉える指標の策定と向上施策の展開

- ✓ 県民意識調査を実施し、多様な県民の意識をウェルビーイング※の観点から可視化
- ✓ 調査結果をもとに、独自の「ウェルビーイング指標」を策定
- ✓ 県民が「自分事」として意識できるよう指標・データの発信方法を工夫
- ✓ ウェルビーイングのデータを活用し、県民起点のきめ細かな政策展開に繋げていく

※「精神的・身体的・社会的に満たされた状態」、「美感としての幸せ」などを指す

課題

- 「富山県成長戦略」など県政の推進のため、県民の**主観的なウェルビーイング**の状況を把握したいが、その**基礎となる指標やデータがない**。
- 県民が実際にウェルビーイング、幸せを**実感**できているのか、**主観的な意識を多面的に捉え**、そのデータを政策に活用していくための**指標策定とデータ収集**が課題

調査の検討・実施

- 主観的なウェルビーイングを捉えるため、様々な調査・研究事例も参考にしながら、専門家の助言も得て、**調査項目を独自に作成**
- 18歳以上の県民5,000名を対象に、**主観的な実感や基本属性等**に関する「**ウェルビーイング県民意識調査（生活の実感に関する調査）**」を実施（令和4年9月）

調査結果の活用・今後の展開

- 2,754名から回答を得て、年齢や性別等ごとに平均値や割合などで分析し、結果をグラフ等で可視化。**多様なウェルビーイングの姿が明らかになった**。
- さらにデータを分析（相関分析、因子分析）、関連性や共通する要素を整理し、「**富山県ウェルビーイング指標**」を策定・公表（令和5年1月）した。
- 指標は、①全体で捉える「総合指標」、②7つの側面から捉える「分野別指標（なないろ指標）」、③社会的な関係性から捉える「つながり指標」で構成。今後、この指標で**動向を継続的に把握**。
- 指標の状況は**花の形で表現し可視化**するなど発信方法を工夫。（ウェブ回答で自分の状態もチェック可）**県民がウェルビーイングやそのデータに親しみをもち、自分事として意識**できるよう努めている。
- また、指標及びそのデータは**政策形成に活用**。基本属性と主観的な実感のデータを組み合わせ、政策対象の状態に応じた新たな仮説、課題・ニーズの発見、効果検証等、政策立案や評価に活かすなど、**ウェルビーイングのデータをベースとした県民起点のきめ細かな政策展開に繋げていく**。

